2022　入社式　誓いの言葉

本日は私たち新入社員のために、このような素晴らしい入社式を催していただき、誠にありがとうございます。また、未だ新型コロナウイルスによる感染拡大が続く中ではありますが、多くの方々の感染対策等のご尽力によって、入社式を対面で開催していただいたことに関しても、新入社員を代表し心より御礼申し上げます。

ただいま、樋口社長より貴重なお言葉を頂戴し、感謝と感激で胸が熱くなるとともに、東北電力の社員となることへの喜びと責任の双方を改めて感じ、身の引き締まる思いがいたします。本日賜りました激励のお言葉をしっかりと胸に刻み、業務に励んで参りたいと決意を新たにしております。

先月 11 日で東日本大震災から 11 年の月日が経ちました。震災当時は当たり前のように提供されていた電気の供給が止まり、復旧するまで不安な日々を過ごしていました。その後、無事に電気が復旧した時の喜びと安心は今でも覚えています。震災後も先月の福島県沖地震をはじめ東北では災害が多く発生しておりますが、そのような地域だからこそ、当たり前に電気を供給し続け、暮らしに「より、そい」続ける必要があります。その責任を胸に、これまで先輩方が積み重ねてこられた信頼や伝統をしっかりと受け継ぎ、私たち新入社員一同責務を全うしてまいります。

現在、社会は目まぐるしく変化しております。新型コロナウイルスの流行によって人々の生活様式は従来とは大きく変わりました。また、電力業界におきましても、電力の小売全面自由化や送配電部門の分社化、そして 2050 年までに二酸化炭素の排出量を実質 0 にするカーボンニュートラルへの対応を迫られているなど、大きな転換期を迎えています。このような変化に対応していくためには、何事にも主体的に挑戦し続ける姿勢が重要であると考えています。

一方、これまでに先輩社員が培ってこられたステークホルダーの皆様からの信頼など、社会が変化し続ける中でも変わらないものもあります。私たち新入社員は東北電力、そして東北地域の更なる発展のため、目まぐるしく社会の変化に対応するため挑戦し続けるとともに、信頼や地域との絆を常に心に留め、職務に邁進してまいります。

本日、新たなスタートを切った私たち新入社員は、知識や経験が浅く、これから様々なことを学び身につける必要があります。初めは先輩方に教えていただくことばかりであると思いますが、何事にも全力で取り組み、自己研鑽に励んで参りますので、役員の皆様をはじめ、先輩社員の皆様には、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、私たち新入社員は本日の決意を忘れることなく、東北電力の社員として誇りと使命感を胸に、誠実に職務を遂行してまいります。東北の発展と更なる成長のため、様々なことに主体的に挑戦し続けることをお誓いし、新入社員代表の言葉とさせていただきます。

2022年4月1日　新入社員代表　門馬　圭汰